

令和4年度岩手県総合防災訓練

地震・津波・土砂災害等を想定した令和4年度岩手県総合防災訓練が、令和4年10月29日（土）に気仙地区（大船渡市・陸前高田市・住田町）で行われました。

今回の総合防災訓練は、東日本大震災津波、平成28年台風第10号災害及び令和元年台風第19号災害等の大規模災害の教訓を生かし、「自助」、「共助」、「公助」の災害対応の総合力の強化を図ることを目的とし、気仙地区の各地では97の機関が参加した様々な災害対応訓練が実施されました。



当組合の訓練メイン会場となった大船渡市三陸町越喜来杉下地内の山村広場では、大きな地震後に発生した土砂災害を想定し、土砂災害救出救助訓練を実施しました。

会場では、関係機関が集う合同調整所の開設のほか、陸上自衛隊・県警機動隊のオフロードバイク隊やドローンによる現場状況確認の後、当組合の救助隊・県警機動隊・災害救助犬が土砂に巻き込まれた負傷者の捜索救出、倒壊家屋・土砂埋没車両内に取り残された要救助者の救出、消防団による土砂・倒木の撤去、救急隊・DMATによる負傷者のトリアージや応急救護処置、ヘリコプターによる重傷者の迅速搬送、県建設業協会による啓開活動等が行われ、訓練に参加した関係機関が一丸となり、大規模災害時の連携強化を図ることができました。

ご協力・ご支援いただきました関係機関の皆様、大変ありがとうございました。

